

新型コロナワクチン接種に係わる指導について

大切なお知らせとお願い

12歳以上の児童生徒への新型コロナワクチンの接種について学校が取り組んでいること

ワクチンの接種を受ける又は受けないことによって、差別やいじめなどが起きることのないよう、学校では次のような説明や指導を行っています。

■ワクチン接種についての説明

- ・ワクチン接種は強制ではないこと
- ・身体的理由や様々な理由によってワクチンを接種できない人や接種を望まない人がいるということ

■ワクチン接種に係る指導

- ・ワクチン接種の有無を問いたださないこと
- ・ワクチン接種を強制したり、強くうながしたりしてはいけないこと
- ・ワクチン接種を理由とした、仲間はずれやいじめをしないこと
(言うまでもなく、仲間はずれやいじめはどんな理由でも許されません)

保護者のみなさまにおかれましても、学校で行っている指導を知っていただき、ご家庭でも話題にしていただけると幸いです。

新型コロナワクチンQ&A

Q1 日本で接種が進められている新型コロナワクチンにはどのような効果（発症予防、持続期間）がありますか。

A1 日本で接種が行われている新型コロナワクチンは、いずれも、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果が期待されています。効果の持続期間や、感染を予防する効果についても、時間の経過や接種者数の増加に伴い、研究が進んでいます。

Q2 新型コロナワクチンの接種を望まない場合、受けなくても良いですか。

A2 接種は強制ではなく、あくまで本人の意思に基づき接種を受けていただくものです。

Q3 今回のワクチン接種の「努力義務」とは何ですか。

A3 「接種を受けるよう努めなければならない」という予防接種法の規定のことで、義務とは異なります。感染症の緊急のまん延防止予防の観点から、皆様に接種に御協力いただきたいという趣旨から、このような規定があります。

Q4 これまでに認められている副反応にはどのようなものがありますか。

A4 注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み等がみられることがあります。まれな頻度でアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が発生します。

Q5 変異株の新型コロナウイルスにも効果はありますか。

A5 一般論として、ウイルスは絶えず変異を起こしていくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるというわけではありません。それぞれの変異株に対するワクチンの有効性がどのくらいあるのかについても、確認が進められています。

もっと詳しい情報については、「厚生労働省ホームページ <https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>」でご確認ください。

- ・ワクチンを接種した後も、マスク着用など、感染症対策の継続をお願いします。
- ・ワクチン接種の数日以内に発熱や接種部位の痛み、頭痛などの副反応が出る可能性があります。ご家庭においても健康観察をしっかり行い、発熱や風邪症状が見られる場合は、自宅で休養させてください。
- ・接種後に副反応のような症状が見られたり、健康上心配なことがあったりする場合は、学校へ連絡をお願いします。